

# 環境報告 2007

活動項目	目標	活動結果	評価											
事業活動における環境保全の推進	事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減 ① オフィス活動・従業員1人当り自動車含む)排出量2003年度を維持	<p>残念ながら維持出来ませんでした。</p> <p>集計は4月～2月までの11カ月)</p> <p>&lt;総排出量(kg-CO<sub>2</sub>)&gt;</p> <p>自動車除く 201,500 → 211,400 (↑05%)</p> <p>自動車含む 418,600 → 426,900 (↑02%)</p> <p>&lt;一人当り(kg-CO<sub>2</sub>)&gt;</p> <p>自動車除く 1,714 → 1,985 (↑14%)</p> <p>自動車含む 3,220 → 3,713 (↑15%)</p> <p>遠隔地の工事が増え社外施設での宿泊もあり、今までのデータの収集だけでは単純に年度毎の比較が難しい状況が出てきています。また数字の把握だけでなく、実際の活動を再点検することも、簡単にはいかないCO<sub>2</sub>の削減には欠かせないことであると改めて考えさせられます。</p> <div data-bbox="678 795 1321 1232" style="text-align: center;"> <p>CO<sub>2</sub>排出量(総量) kg-co<sub>2</sub></p> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>排出量 (kg-co<sub>2</sub>)</th></tr> <tr><td>2003年</td><td>418,600</td></tr> <tr><td>2007年</td><td>426,900</td></tr> </table> </div>	年	排出量 (kg-co <sub>2</sub> )	2003年	418,600	2007年	426,900	×					
	年	排出量 (kg-co <sub>2</sub> )												
	2003年	418,600												
2007年	426,900													
② アスファルトプラント 合材生産に伴う二酸化炭素排出量の削減	<p>合材の出荷量の減少に伴い総排出量は減少するものの、日々のお荷量が少なくなっているために1当りの排出量は多くなってきています。これをどのように減らしていくのか難しい問題ではありますが、継続して取り組んでいきます。</p>	—												
③ ハイブリッド車の導入	<p>札幌本社に1台導入しました。</p> <p>下図は平成19年度の札幌本社でのハイブリッドカーとそうでない車(ガソリン車)の比較です。導入の効果は歴然としています。燃費の差でCO<sub>2</sub>排出量を比較すると29%の削減になります。今後、燃料価格の高騰が続く場合には、ハイブリッドカーの導入を前倒しする必要があるようです。</p> <div data-bbox="694 1747 1324 2105" style="text-align: center;"> <p>燃費 (km/ )</p> <table border="1"> <tr><th>車種</th><th>燃費 (km/ )</th></tr> <tr><td>普通車</td><td>15.4</td></tr> <tr><td>ハイブリッド</td><td>21.7</td></tr> </table> <p>co<sub>2</sub>排出量(kg-CO<sub>2</sub>)</p> <table border="1"> <tr><th>車種</th><th>co<sub>2</sub>排出量(kg-CO<sub>2</sub>)</th></tr> <tr><td>普通車</td><td>3,940</td></tr> <tr><td>ハイブリッド</td><td>2,800</td></tr> </table> </div>	車種	燃費 (km/ )	普通車	15.4	ハイブリッド	21.7	車種	co <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	普通車	3,940	ハイブリッド	2,800	◎
車種	燃費 (km/ )													
普通車	15.4													
ハイブリッド	21.7													
車種	co <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )													
普通車	3,940													
ハイブリッド	2,800													

事業活動における環境保全の推進	事業系廃棄物・紙類の再資源化率100%	<p>目標を達成出来ませんでした。</p> <p>目標の100%に対し98%。2つのサイトで目標に到達しませんでした。</p>	×
	環境保全製品の購入金額比率80%	<p>目標を達成しました。</p> <p>目標の80%に対し85% 古紙混入率の不正表示の影響で金額的に大きい古紙を使用したコピー用紙の使用が減ったこともあり、目標は上回ったものの、予想より低い数字となりました。</p>	◎
	特定調達品目の確認(遵守)	<p>特記仕様書に記載されているものはすべて使用されています。</p>	○
	土壌の汚染防止	<p>工事・業務において土壌汚染をもたらすような事はありませんでした。</p>	○
社会貢献	<p>環境活動を通じて地域社会との連携を深める</p>	<p>取り組みはほぼ定着してきました。</p> <p>工事では、夏場においては工事区間内の側溝・法面・バス停の清掃や地域の小学校の運動会への仮設トイレの提供、冬場は工事用車両が通る道路やお年寄りの家の除雪。</p> <p>本店では毎年の、旧社屋周りの清掃、札幌本社では国道の花壇の花植え。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">仮設学校の運動会にトイレを提供</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">高速道路で一般車両の消火活動に協力</div> </div>	○